

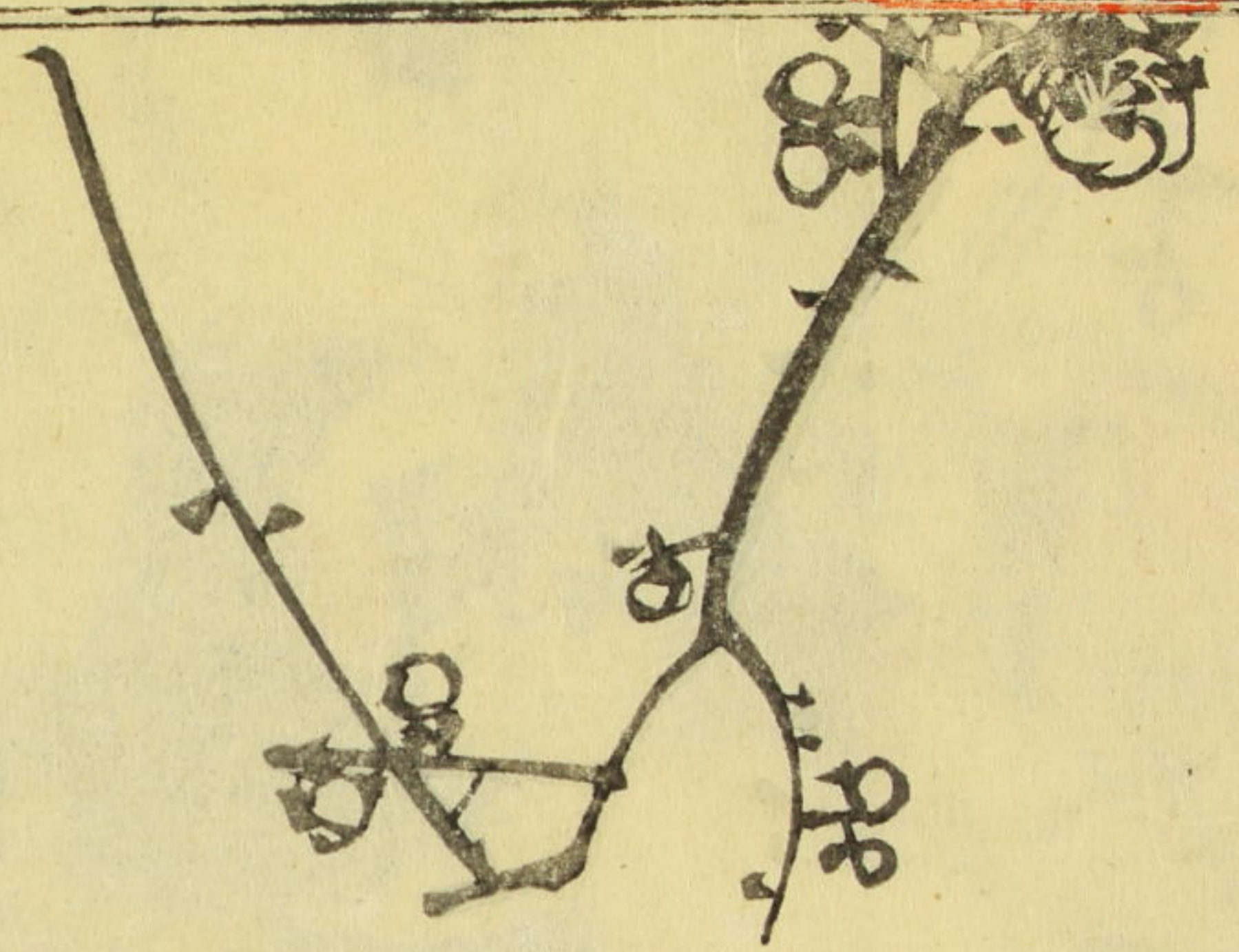
柳子

七編下

~ 13  
3735  
14



明 13  
 號 3735  
 卷 14



此乃  
 萬壽無疆  
 福壽無疆  
 萬壽無疆

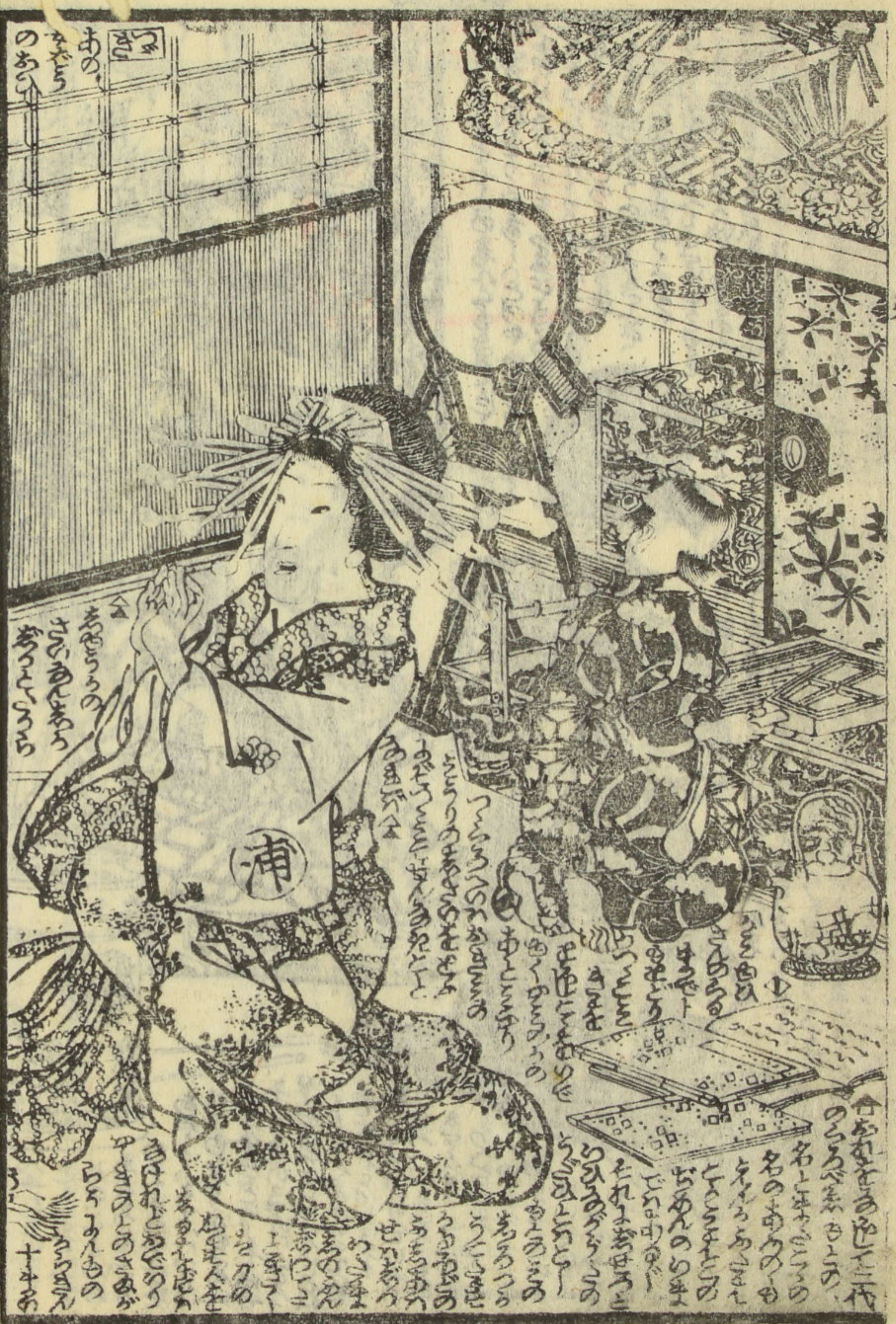


此乃...  
 音...  
 海...

此乃...  
 音...  
 海...

此乃...  
 音...  
 海...

明 11



Handwritten text in a cursive script, likely a diary or travelogue, positioned vertically along the right edge of the illustration.



Handwritten text in a cursive script, likely a diary or travelogue, positioned vertically along the left edge of the illustration.





Handwritten text in a cursive script, likely a form of Chinese or Japanese, arranged in vertical columns. The text is densely packed and covers most of the lower half of the page.

Handwritten text in a cursive script, arranged in vertical columns. This text is located in the upper left quadrant of the page.



Handwritten text in a cursive script, arranged in vertical columns. This text is located in the lower left quadrant of the page.



月鳥

十五

鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる  
 鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる  
 鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる

鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる  
 鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる  
 鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる

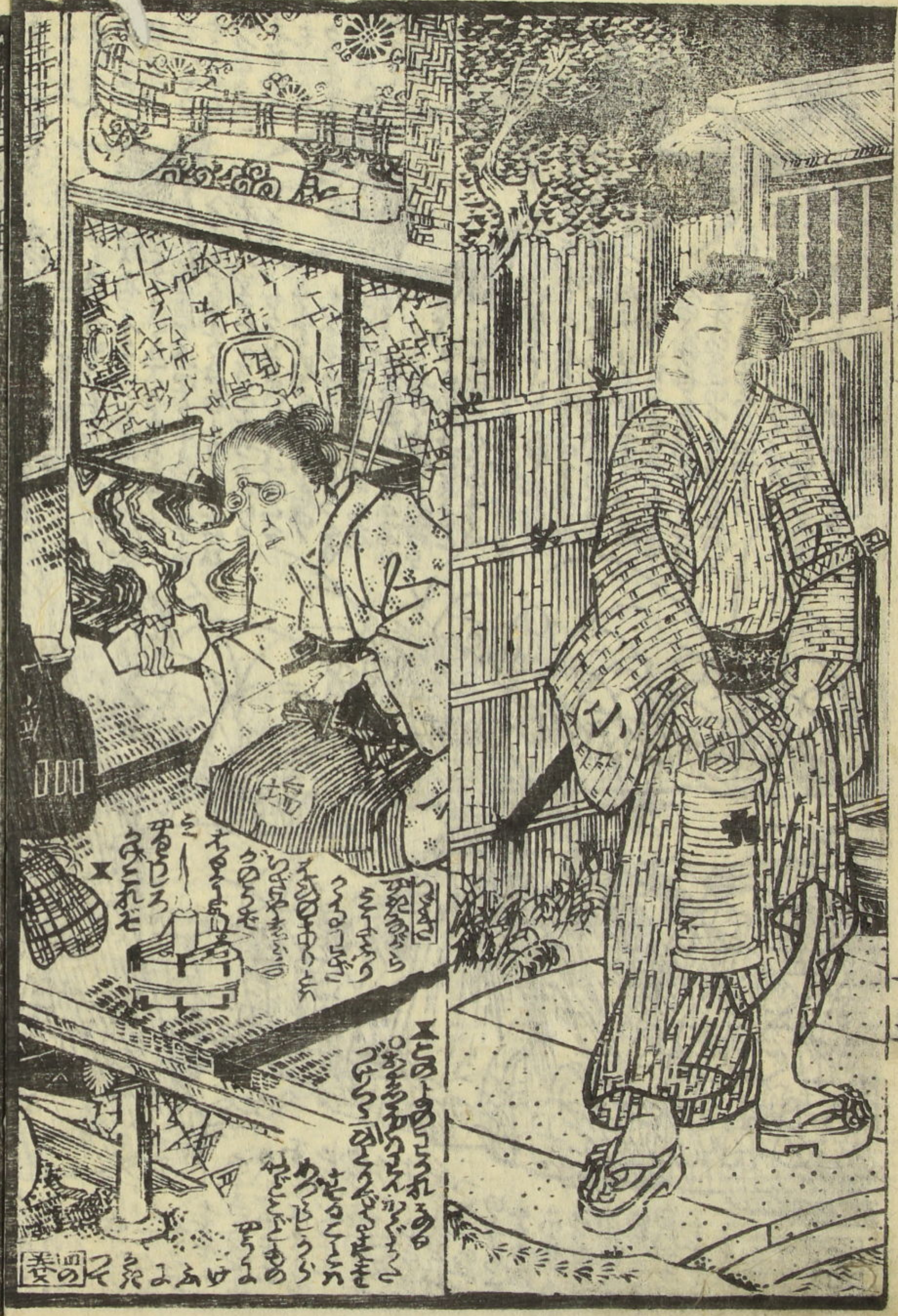
鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる  
 鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる  
 鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる

鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる  
 鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる  
 鳥の鳴き声は  
 春の訪れを告げる



月傳二

此は、  
 藤原の  
 御堂  
 にて  
 藤原の  
 御堂  
 にて  
 藤原の  
 御堂  
 にて  
 藤原の  
 御堂  
 にて

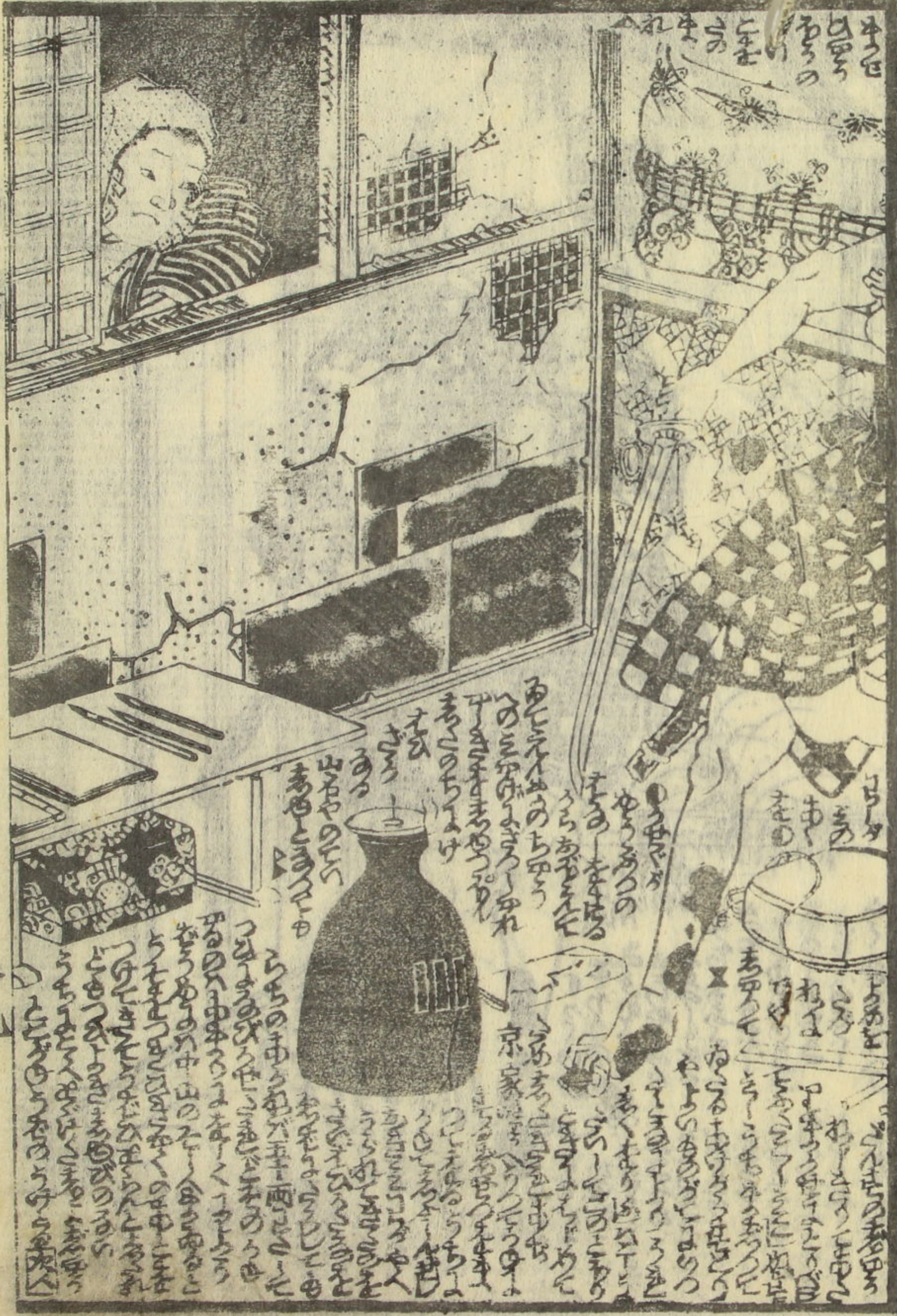


藤原の  
 御堂  
 にて  
 藤原の  
 御堂  
 にて  
 藤原の  
 御堂  
 にて









日本



新局九尾傳

七編より 十一編まで 爲永春水作 梅蝶樓國貞画

室町源氏胡蝶卷

十二篇 十三篇 十四篇 十五篇 種彦作 國貞画

假名情談戀睡倉

四編 如皋作 大尾國貞画

童謡妙々車

廿二編 廿三編 廿四編 種彦作 國貞画

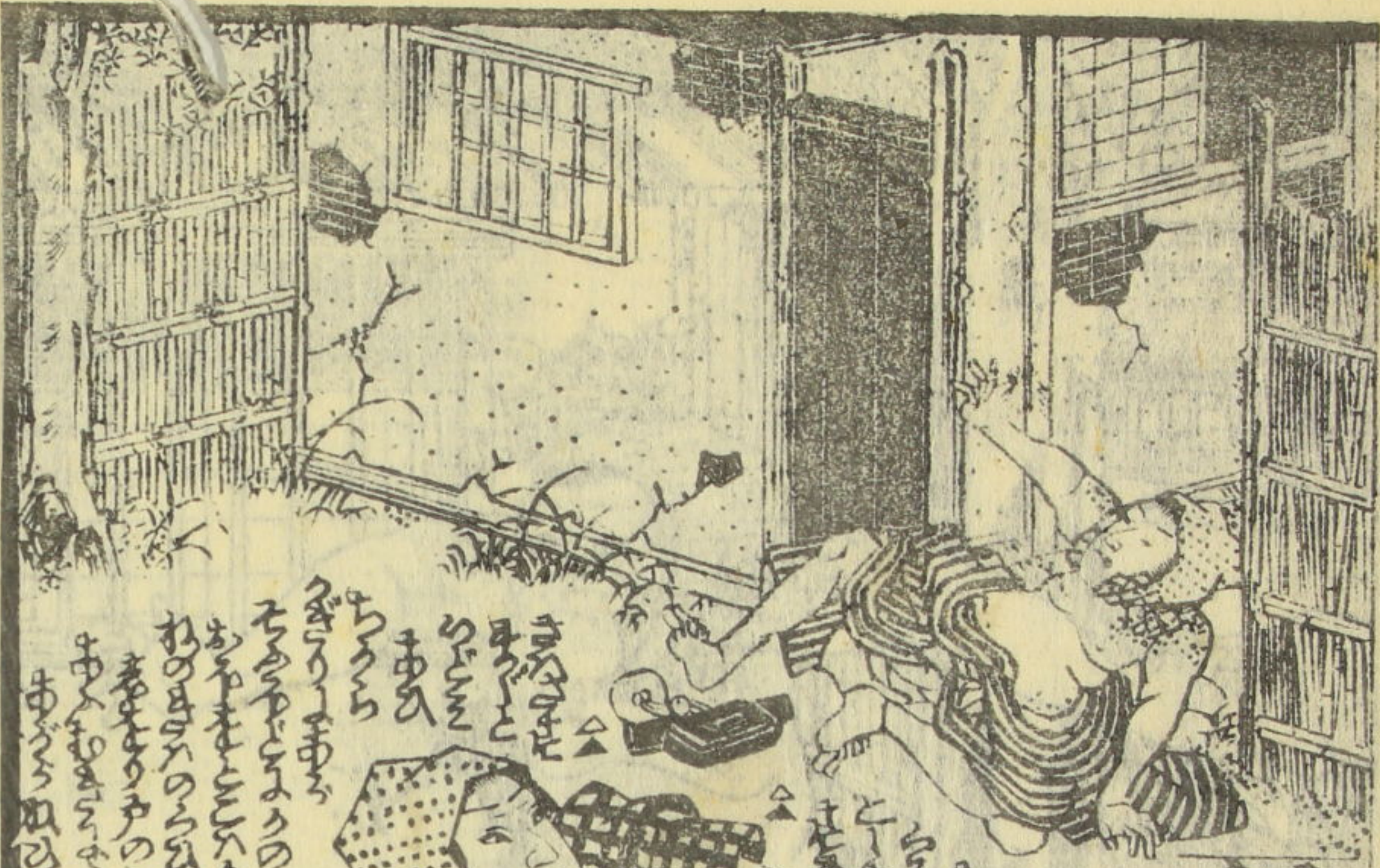
薄倂幻日記

十七編 十八編 十九編 春水作 國貞画

七娘の葛飾譚

九編 種彦作 國貞画

種彦作國貞画



種彦作國貞画の物語は、室町源氏胡蝶卷の一場面を描いたものである。主人公は、この世に迷い込んだ魂を救うために、様々な苦難を乗り越え、最終的にめでたき結末を迎える。この物語は、種彦の巧みな筆致と、國貞の繊細な画工によって、読者に深く印象づけられている。

筆海四國聞書

十一編 十二編 十三編 種彦作 國貞画

明鴉墨画通袖褔

十三編 十四編 十五編 種彦作 國貞画

花封苔玉章

十編 種彦作 大尾國貞画

犬傳犬の双紙

四十九編 五十編 五十一編 柳亭録 國政画



南傳馬所書丁日 葛屋吉蔵

